

中等習字帖

日高秩父書
中

K220.72
57
2

K220.72

57

2



習字帖 中

同文館藏版

天地の公道

人倫の常經

社會の制裁

自然の淘汰

春水滿四澤

夏雲多奇峯

秋月揚明輝

冬嶺秀孤松

權利義務財產

租稅收納賦課

租税ハ國家ノ大事
ニシテ人民ノ負擔

スベキ最モ重大ナ
ル義務ナリ

過ぎたるは猶及ばざるが
如し。遠き慮那ま
ときは必ず近き憂あり。

中七

病は口より入り禍は口より
出づ。好事門を出でず
悪事千里に傳る。

剛毅活潑忍耐

養生健康幸福

著實奮勵覺悟

教訓薰陶發展

水晶の瓶に秋水を湛へ白
玉の盆に氷を載せたらんが

中ノ十

如く隠れたる所なき風
情を大丈夫の態度とす

星地に落ちてその朝谷
間の百合の咲くを眺め

中ノ十

露影消えてその夕峯
上の雲の涌くを見る

卑屈の行は惡むべき也
眞の服従は人の美德なり。

中十二

人は高尚なる精神を以て
遠大なる理想を抱くべし。

弦月懸山殺氣滿天
敵據絕壁峻險如削

中佐切齒蹶然躍入
濠中揮刀斬敵三人

空老ふ騎 鳴く音清らに
物もなき海 船嵐吹く

空は空なり 海も流る東
日は朝斗 燈之くて昇る

春は風暖にして嫩芽競ひ生じ
夏は日暑くして枝葉繁茂し
秋は氣冷にして果實成熟し

冬は天寒くして徐らく春を
待つ寒暖風雨霜雪時と違ふ
して到り萬物其發育を全くす

古之君子也

也如日之恒

臣等見之及生

中ノナ

更也武公仰之

あはれ川をすまひては遊ばる
白のたすくも 柵を那き

中子八

あはれ川をすまひては遊ばる
あはれ川をすまひては遊ばる

K220.7

大正元年十月廿三日

日高秩父



中十九

大正元年十月廿三日 印刷
大正元年十月廿八日 發行

中等習字帖 全三冊
定價各金拾六錢

發兌

不許複製

東京市神田區表神保町二
電話本局特四三七三六六七

編輯者
印刷者兼

同文館編輯部
日高秩父
森山章之丞
同文館
東京市神田區表神保町二番地
振替貯金口座東京一三五番

宮田六左衛門刺

